

令和5年度 滋賀県立聾話学校 学校評価

学校番号 52

本年度の重点目標

人生を主体的に切り拓く学びの確立
 1 言語力・学力の向上を図り、自ら考え、学び、行動する力を育む。
 2 集団活動を通して、社会性や豊かな心を育てる。
 3 主体的にコミュニケーションする力を育む。

領域	重点評価項目	中間評価(10月)	総合評価(3月)	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1 学校経営	教育環境を整え、子ども達が生き生きと活動できる学校づくりに努めている。	B	B	A
	学校と家庭・地域との連携、協力を密に行っている。	B	B	B
2 教育課程・学習指導	基礎学力の定着を図った、丁寧な授業を行っている。	B	B	B
	多様な子どもの障害の状況に応じた、授業の工夫・充実に努めている。	B	B	B
3 生徒指導	基本的な生活態度を育むための指導を日常的に行っている。	B	B	A
	子どもの生活の様子や実態に合わせた生徒指導を行っている。	B	B	B
	いじめを見逃さないよう、子どもの学校生活の把握および指導を行っている。	B	B	B
4 進路指導	子ども一人ひとりの適性や課題に応じた進路指導・職業教育の充実に努めている。	B	B	B
5 保健・安全指導	子ども自らが健康に注意できるよう指導している。	B	B	B
	事故や犯罪から子どもの命と安全を守るように指導をしている。	B	B	A
	感染症等の予防のため、学校全体で対策を講じている。	B	B	A
6 人権教育	幅広い人権学習を通して、子どもたちが人権意識を高めるよう努めている。	B	B	A
7 環境教育	子ども達が環境保全を意識する指導を行っている。(ごみの分別、廃棄野菜の堆肥化など)	B	B	B
	校内の清掃活動を丁寧に行うよう指導している。	B	B	A
8 交流及び共同学習	地域の学校などとの交流及び共同学習を積極的に行っている。	B	B	B
9 教職員の現職教育	教職員一人ひとりが、授業研究等により指導力の向上に努めている。	B	B	A
10 センターの機能の発揮	聴覚特別支援教育のセンターとして役割(0歳からの教育相談・聴能・通級指導教室・その他の事業など)を果たしている。	B	B	B
11 その他学校の取組み	自校の教育活動を地域に積極的に公開している。	B	B	B
	集団生活を通して社会性や豊かな心を育てている。	B	B	B
	主体的にコミュニケーションする力を育てている。	B	B	B

(注) ・評価については、ABCDの4段階で示す。

・生徒指導の欄に、いじめの項目を入れること。

・自己評価:ABCDの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合(達成度80%以上)はA、おおむね達成できた場合(達成度60%以上80%まで)はB、あまり達成できていない場合(達成度40%以上60%まで)はC、達成できていない場合(達成度40%未満)はDとする。ただし、アンケートの結果等を機械的にABCDの評価に置き換えるのではなく、学校の現状を真摯に分析・検討し、今後の学校改善につながるよう、適切に評価すること。